

2 学年〇・〇・〇組 保健体育科学習指導案

福岡市立〇〇中学校

指導者 〇〇 〇〇

1 単元 球技「バレーボール」

2 指導観

本単元で取り扱うバレーボールは、ネットを境に相對した2チームがサービス、パス、トス、スパイクやブロック、レシーブなどを用いて攻防を展開し、得点を競い合うチームスポーツである。最近ではソフトバレーボールやビーチバレーなど、ボールの形やコートを変えて行う競技も増え、楽しみながら仲間とゲームを行える運動として親しまれている。また、テレビ放送も頻繁に行われ人々の認識度も高く、地域のクラブ活動や家庭婦人バレーなど年齢に関係なく気軽に取り組むことのできる競技である。

学習内容としては、パス、レシーブ、トス、スパイクなどの個人的技能や、フェイント攻撃やクイック攻撃などの集団的スキルがある。これらのことを学習していく中で、チーム内での役割や個人の課題に応じて練習を工夫しゲームに活用することにより、運動の楽しさや喜びを味わうことができる。

本学級の生徒は授業において、見学や忘れ物をする生徒が少なく自ら進んで授業に参加しようとする態度が見受けられる。また、仲間と協力しながら練習したり、用具の準備や片付けをしたりする態度も身に付いている。しかし、自己の課題に気付いたり、課題を解決したりすることが不得意である。

バレーボールについては男子のみが授業において経験している。男子の1年次における授業ではパス、スパイクを使ったミニゲームまで体験をしている。しかし、女子は1年次にバスケットボールを実施し、バレーボールの経験はない。バレーボール部員を除くと、パスの仕方、ゲームの基本的な進め方などは知っているが、技能を身につけている生徒は少ない。また、審判の仕方や運営の方法についても理解が不十分である。

本単元の指導にあたっては、バレーボールの特性を理解し、仲間と協力しながら個人やチームの課題を明確にし、主体的に課題解決学習ができる資質・能力の育成を図る。

まず始めに、オリエンテーションを行う。ここでは、バレーボールの特性を説明した上で、本単元の見通しを立てるために、学習の進め方及び学習評価表の書き方や実技の本の活用方法について説明をする。また、技能チェックを行い、それを参考にしてグルーピングを行い、仲間と協力して活動していくことを確認させる。

次に、基本的な技能であるオーバーハンド・アンダーハンドパスの習得を目指す練習を行い、現時点での個人やグループの力を把握させる。その後、三段攻撃を目的としたゲーム的活動を取り入れ、ボールに触れる機会を多く持たせる。ここでは個人あるいは少人数で競い合うことで意識を高め、個人的技能・集団的スキルの向上を目指す。その際、パフォーマンス評価表を使った分析で個人の成果を評価し、その結果からチーム全体の達成度を確認する。

最後に単元のまとめをさせる。ここでは4人制ミニゲームを通して今まで練習してきた技能をゲームに生かし、作戦を工夫しながら取り組ませる。また、授業を通して自らの課題を発見し、解決することができたか学習評価表を振り返らせることにより、単元のまとめとする。

3 目標

授業規律を守り、自主的な活動の基礎となる態度を身に付ける。

個人やチームの課題に気づき、課題を解決することができる。

個人技能や集団技能を高め、ゲームの中で活用することができる。

バレーボールのルールや戦術を理解している。

4 計画(15時間) 関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能 知：知識・理解

次時	活動内容	目標達成のための手だて	評価規準 評価の方法
一 3	1 オリエンテーションを通してバレーボールの特性や学び方を理解する。 ・バレーボールの特性 ・授業の進め方 ・学習評価表の書き方 ・実技の教科書を使った学習 ・技能チェック ・グループ編成	学習の進め方やバレーボールの特性について説明する。 学習評価表の活用について説明する。	関：バレーボールに関心を持ち、特性や技能について理解しようとする。 観察 学習評価表
二 3	2 基本的な個人技能を身につける。 ・直上パス ・対人パス ・移動パス ・スパイク	実技の教科書や示範を見ながら動きの確認をさせる。 学習評価表を活用し、自己の課題を発見させ、課題解決の方策を考えさせる。	知：パスの名称や動きの特徴を理解している。 観察 学習評価表 思：個人やチームの課題に気づき、課題解決のための方策を考えることができる。 観察 学習評価表
5 本時 10 / 15	3 練習やゲームを行い、個人や集団の技能を高める。 ・パフォーマンス評価表を使った学習 ↑↓ ・ゲーム(チーム分析)	相互評価を行い、技能の達成度を確認させる。 基本的な技能が正しく活用されているか確認し、状況に応じて助言する。 お互いに協力して練習やゲームを進めさせる。	技：攻防の中で基本的な個人技能を活用することができる。 関：チームの仲間と協力しながら意欲的に学習しようとする。 観察 学習評価表
三 4	4 簡易なルールで、ゲームを行う。 ・リーグ戦 5 単元全体を振り返り、まとめをする。 ・ トレーニング ・評価活動	特別ルールを設け、積極的なゲーム展開ができるようにする。 練習やゲームを通してチームの課題を見つけ、課題解決のための助言を行う。 練習で学んだ技能や戦術を意識して活用するよう助言する。 実技の教科書を使ってルール・審判法や戦術を学ばせる。 体力を高めるトレーニングを行わせる。 学習評価表を活用し、活動の中で工夫した点や練習内容などを振り返らせる。	関：ゲームの結果から動きのよかった点を認め合おうとする。 観察 学習評価表 思：チームや個人の課題の解決するために練習方法・作戦を工夫している。 観察 学習評価表 技：ゲームの中で個人技能や集団技能を活用している。 観察 知：ルールや戦術を理解している。 観察 学習評価表

5 本時 平成20年10月1日(水) 5限目 体育館

(1) 本時の指導観

第2次の4時から6時までに生徒たちは、バレーボールに必要な技術のうち、オーバーハンドパス、アンダーハンドパスの学習をした。個人技能に差はあるものの、おおむね直上パスはできるようになった。しかし、大きな動きを伴うパスになるとフォームが崩れ、安定した返球ができないという課題が出てきた。

そこで、7時から8時は動きの伴うパスに焦点をあて、課題を提示し、その課題を効果的に解決できるように考えさせることをねらいとした。ここでは、パフォーマンス評価を使い、ゲーム中の個人の課題を「意志決定」・「技術発揮」・「サポート」の3つの観点から見つけることを説明し、相互評価を行った。その結果をもとに個人のパス技能についての課題設定を行った。9時から習得したパス技能を使って、セッターを中心としたパスゲームを行った。ここでもパフォーマンス評価表を継続し、狙い通りの三段パス攻撃ができることを課題とした。

本時は3回目のパスゲームで、攻防に焦点をあてている。攻防を繰り返す中で個人やグループにおける課題に気付かせ、協力して課題解決にむけての方策を発見させたい。

(2) 主眼

攻防の中で、パスにおける個人やチーム技能の課題に気付き、課題解決のための方策を立てることができる。

- (3) 準備 学習評価表 パフォーマンス評価表 ホワイトボード バレーボール
バドミントン支柱・ネット3セット 電子ホイッスル 実技の教科書

(4) 過程

学習活動・内容	準備	手だて と評価	形態	配分
1 学習の準備をする ・号令走 ・準備運動(ラジオ体操) ・挨拶 ・出席の確認(見学, 忘れ物確認)		安全確認とともに生徒の体調状態に気を配る。	一斉	10
2 本時の流れとめあての確認をする。 学習のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">攻防の中からチームや個人の課題を見つけ、解決方法を考えよう。</div> ・学習のねらいの確認 ・活動の仕方の確認		チーム, 個人の課題を考えさせる。	一斉	5
3 チーム練習をする ・基礎練習(パス)		試合前の準備程度に行わせる。	グループ	6
4 ゲームを行い、パフォーマンス評価表に記録をする。		パフォーマンス評価表記入の仕方について助言する。 関：チームの仲間と協力しながら意欲的に学習しているか。 観察	グループ	19
5 ゲームの分析を行い、個人とチームの課題解決方法を考える。		ゲーム分析や課題について助言する。 思：チームや個人の課題に気付き、解決方策を考えることができているか 観察 学習評価表	グループ	5
6 本時のまとめと次時の予告を聞く。 ・全体のまとめ ・次時の予告		本時の学習を振り返り、個人, グループの課題や解決方法について説明する。	一斉	5

バレーボール学習評価表 平成20年 月 日 2年 組 番 氏名

学習のめあて					
学習のめあての達成度:めあてを達成できたか		4	3	2	1
学習 評価	練習やゲームに意欲的に取り組みましたか	4	3	2	1
	目標をもって活動できましたか	4	3	2	1
	助け合いや協力ができましたか	4	3	2	1
	技能の向上がありましたか	4	3	2	1
	先生の助言は理解できましたか	4	3	2	1
< 4 そう思う 3 だいたいそう思う 2 あまりそう思わない 1 まったく思わない >					
【学んだこと】			【次への課題】		
【友達からのアドバイス】			【課題解決の方策】		

バレーボールパフォーマンス評価 ~ オーバーハンドパスとアンダーハンドパスを使い分けよう! ~

対象生徒

2年 組 氏名 君(さん)

記入方法

…パスが適切であったとき。 ×…パスが失敗したとき。
 オ×…オーバーでとるべきだったが、アンダーでとり失敗した。 ア×…アンダーでとるべきだったが、オーバーでとり失敗した。

【第一ゲーム】	記入例																		
オーバーハンドパス		×	ア×																
	記入例																		
アンダーハンドパス		×	オ×																
サポート・ポジション	体をボールの方向に向けることができていた				ボールの落下点に入ることができていた				チームメイトをカバーすることができていた										
	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1							
< 4 できていた 3 だいたいできていた 2 あまりできていない 1 まったくできていない >																			

君(さん)の課題	
課題解決のためのアドバイス	

バレーボール学習評価表 平成20年 月 日 2年 組 乗 氏名

記入の仕方

本日の授業を振り返り、自己評価してみよう。

学習のめあて					
学習のめあての達成度:めあてを達成できたか		4	3	2	1
学習評価	練習やゲームに意欲的に取り組めましたか	4	3	2	1
	目標をもって活動できましたか	4	3	2	1
	助け合いや協力ができましたか	4	3	2	1
	技能の向上がありましたか	4	3	2	1
	先生の助言は理解できましたか	4	3	2	1
< 4 そう思う 3 だいたいそう思う 2 あまりそう思わない 1 まったく思わない >					
【学んだこと】			【次への課題】		
本日の活動内容について記入しよう。			授業で気づいた課題やパフォーマンス評価で気づくことができた課題を記入しよう。		
【友達からのアドバイス】			【課題解決の方策】		
友達からもらったアドバイスを具体的に記入しよう。			課題解決のための手だてを教科書や先生のアドバイスを参考に、具体的に記入しよう。		

バレーボールパフォーマンス評価 ~ オーバーハンドパスとアンダーハンドパスを使い分けよう! ~

対象生徒

2年 組 氏名 君(さん)

記入方法

…パスが適切であったとき。 x…パスが失敗したとき。
 オx…オーバーでとるべきだったが、アンダーでとり失敗した。 アx…アンダーでとるべきだったが、オーバーでとり失敗した。

【第一ゲーム】	記入例															
オーバーハンドパス		x	アx													
	記入例															
アンダーハンドパス		x	オx													
サポート・ポジション	体をボールの方向に向けることができていた				ボールの落下点に入ることができていた				チームメイトをカバーすることができていた							
	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1				
< 4 できていた 3 だいたいできていた 2 あまりできていない 1 まったくできていない >																

君(さん)の課題	ゲームや練習中に友達の課題を見つけて、記入しよう!
課題解決のためのアドバイス	課題を解決するためにどのような取り組みをしたらよいかアドバイスをしよう。